

令和7年度 沖縄県立 読谷高等学校 自己評価(PDCAシート)

学校経営目標	①危機管理の徹底と安心安全な教育・職場環境の整備充実 ②校訓「誠実勤勉・融和協力・進取剛健」の体現に向けた生徒の育成③働き方改革の推進及び職員の資質・能力の向上 ④学校事務の適正な管理運営及び学校施設の充実 ⑤地域に根ざした学校づくりを推進し、生徒・保護者・地域からの更なる信頼の向上	
昨年度の成果と課題	今年度重点目標	具体的方策
【成果】 ・発達支持的生徒指導の充実により、生徒個々の社会的資質・能力を育成することができた。	【学校経営】 PTAや地域との連携を密にしながら、教育の充実推進を図り、課題解決等へ迅速に対応する。	①全職員による安心・安全な教育環境及び職場環境整備の推進 ②各部の主任等を中心に「チーム」で取組強化 ③「報・連・相」の徹底と課題解決への迅速対応 ④適正な学校予算の執行管理 ⑤PTA・同窓会・近隣校との連携強化 ⑥HPを活用した学校情報の発信力強化
【課題】 ・指導と評価の一体化を目指した、観点別学習状況の評価の研究。 ・主体的学習者の育成を目指した家庭学習課題の量とタイミングの調整。□	【学校教育の管理】 各種行事の見直しを図りながら、生徒の自主自律の精神を育成する。	①誠実勤勉(目標に向かい真剣に取り組む)・進路意識の向上による早期進路の進路決定 ・基本的生活習慣の確立と学習習慣の定着 ②融和協力(心打ち解け合い、支え合う)・行事等を通してコミュニケーション力の育成 ・環境美化を推進し、学習環境の整備・充実 ③進取剛健(「心・技・体」を鍛える)・主体的に活動し、心身ともに健康の保持増進
	【職員の育成】 業務等の見直しや改善を図り、全職員の共通理解のもと、風通しのよい職場環境を醸成する。	①服務研修を定期的開催し、服務規律の徹底 ②働き方改革の推進・心理的安全性の高い人間関係の構築 ③管理者との報連相の徹底 ④学力向上推進指定研究の充実推進 ⑤部活動活性化指定研究2年目の推進 ・資質・能力や専門性を高める研修の実施 ・行事等の見直し・改善による業務改善の推進

学校関係者評価	
A	
A: 適切である B: 概ね適切である C: やや適切である D: 不適切である	
評価	評議員からの意見

部・学年	具体的目標	具体的方策	教職員	生徒	保護者	評価	総合	令和8年度改善案
教務部	本校の教育目標、教育方針に沿った教育活動が円滑に行われるよう全職員の共通の理解と協力体制の確立を目指す。	年間行事の適正化を図り、授業時間の確保に努める。	A	A	A	A	A	今年度同様、各部・各教科との連携に努めながら校務運営の円滑化を図る。また、教育課程および観点別評価の研究を継続し、一層の充実を目指す。
		各部、各教科との連絡調整に努める。	A			A		
		地域、保護者との連携を密にする。	A		A	A		
		校務に係る情報の利便性を考慮し、諸公簿・書類などの整理保管に努める。	A			A		
		教育課程・観点別評価の研究に努める。	A	A	A	A		
生徒指導部	(1)基本的生活習慣の確立 (2)安全指導 (3)集団活動の規律化	3つのマナーアップで服装容儀を正し、礼節を守り、時間や約束を守り自主的、自立的に行動できるように支援を行う。	A	A	A	A	A	今年度は生徒との対話を大切に生徒指導を行ってきた。次年度も生徒の表面だけでなく個性や周りの環境などに配慮しながら、丁寧な生徒指導を心がけていきたい。全職員の協力を得ながら、足並みをそろえた生徒指導の充実を図る。そして生徒自らがTPOを考えたマナーを身につけることができるよう、サポート体制を整える。
		危機管理意識の向上の指導を行い、事件事故に巻き込まれない為に予防教育・注意喚起を行う。	A	A	A	A		
		交通安全指導を行い、事件・事故の被害者や加害者にならないように危険回避能力の向上を図る。	A	A	A	A		
		生徒の自治能力を養成し、その自主的、積極的活動により、学校内外における生活態度の向上を図る。	A	A	A	A		
進路指導部	生徒の実態を把握し、個々の能力の向上を図るとともに適性に合った進路選択が自主的にできるように指導する。	将来の進路目標を明確化させ、実現に向け計画的学習習慣の定着を図る。	A	A	A	A	A	進路講演会やガイダンス等の取組を継続するとともに、その成果を日常の学習や進路指導に生かせるよう学年団・HR担任との連携を一層強化し、生徒の主体的な進路選択と学習習慣の定着を図る。
		目標達成に資するため、情報を収集し資料を提供する。	A	A	A	A		
		HR担任との連携を深め、HRにおける進路指導を充実させ学習意欲の高揚に努める。	A	A	A	A		
図書・視聴覚・情報部	図書館、視聴覚機器、情報環境を整備し、生徒の学習支援および職員の校務支援に努める。	図書館資料の充実と活用を推進し、各教科と連携を密にし、図書館利用による学習活動の充実を図る。	A	A	A	A	A	図書館資料の充実と活用や視聴覚機器等の整備に努める。時折、視聴覚教室や体育館放送室の機器の所在が不明になるので、機器の管理(貸与・借用)を徹底していきたい。ICT機器の職員・生徒の支援に努める。また学校ホームページの充実で学校PRに寄与する。無線LAN(Wi-Fi)環境、特に回線速度に関する要望が少なからずある。県へ要望し改善していきたい。
		視聴覚機器、放送施設の整備・充実を推進し、視聴覚教室の利用を促進する。	A	A	A	A		
		ICT機器使用における職員・生徒の支援に努める。	A			A		
		学校ホームページを公開することにより本校をPRする。	A	A	A	A		

A	・年間行事に関して、生徒の企画力を大きく評価する一方、行事の意義を参加者全員が熟考し、各々が何を自己の成長の糧とするか、何らかの確認作業を。 ・学校教育の根幹のひとつである教育課程の円滑な実施について、教員、生徒の評価の高さから円滑な学校経営が図られることがうかがえる。 ・教育活動が計画的に行われていると感じた。
	・薬物の被害、加害が広がっているため、引き続き、ご指導願います。 ・3つのマナーと生徒の自治能力について、生徒の価値観が外見重視になっていると自由記述を見て感じました。何を大切にすることは生き方にも関わるので高校生活3年間にじっくり考える機会を与えて欲しい。生徒の疑問に対し納得できる回答を皆で見つけられるといい。 ・価値観が多様化する中、生徒指導においてもより一層説明が求められる。生徒、保護者の評価が高いことから先生方の丁寧な指導がなされていることがうかがえる。 ・基本的生活習慣や安全指導が丁寧に行われていると感じます。
	・受験期の期間割りの工夫 ・国公立大学受験者が増え、勉強できる環境が整っているように感じます。 ・今年の3年生の進路実績等からも進路指導部と学年会の連携がうまく図られているように感じる。さらなるキャリア教育の充実を期待したい。 ・生徒の進路実現に向けた支援が適切に行われていると思います。
	・本を沢山読んで欲しい。ページをめくる楽しさ、読み返した時の新たな感動、自分のペースで思考を深める心地よさ、一過性ではない知識との遭遇。 ・読書週間が徐々にいっていいようにみえる。 ・教員、生徒評価から読書活動が充実していることがうかがえる。読書を通して豊かな人間性及び思考力の育成に努めてもらいたい。 ・ICT機器や図書環境の整備が進められている事を評価します。

美化・保健部	学校生活が健康で安全に営めるよう、生徒・職員の健康の保持増進と、学校教育が円滑に進められるように学習環境の整備に努める。	施設設備の整備・充実を図り、環境美化の保持増進に努め、花と緑に囲まれた学校づくりを目指す。	A	A	A	A	A	令和7年度は、教育相談便りを学校ホームページに掲載し、保護者への情報共有を図った。しかし、ホームページのみでは周知が十分でないと考えられるため、令和8年度はClassiを活用した情報共有のさらなる充実に取り組んでいく。教育相談に関するお知らせや資料をタイムリーに発信し、保護者が必要な情報へより簡便にアクセスできる環境を整備する。また、救急処置後には、適切な受診指導や保護者への丁寧な協力依頼を行い、再発防止に努める。併せて、学校保険に関する手続きについても迅速かつ正確に対応し、児童生徒の安全確保と保護者の安心につなげていく。	A	・自販機設置について、人間の体は70%は水分と言われ、水分補給は大切。しかし、その大切な補給の中身、何を飲むかが重要。嗜好品を優先するのか？水またはお茶ではダメなのか。SDGsの観点からもペットボトル飲料は避けて欲しい。 ・子どもたちの心の健康問題が多様化、深刻化していると指摘されている。ホームページやアプリを活用した教育相談便り等の情報発信は効果的と思う。引き続き生徒のメンタルケアに努めてもらいたい。 ・安心して学校生活を送れる環境作りが行われていると思います。
		学校保健活動の活性化を図り、健康安全に対する意識の高揚と円滑な学校生活の推進に努める。	A	A	A	A				
		教育相談を教育活動の中に生かし、生徒の自発性と自主性を尊重し、自己解決能力を育成する。	A	A	B	A				
1学年	(1) 基本的生活態度の確立 (2) 基礎学力の向上 (3) 進路に対する関心を高める	健康的で規則的な生活を心がけさせ、勤怠、服装容儀及びスマートフォンの使用のマナー指導の指導を徹底する。	A	A	A	A	A	・服装や言動など乱れが見られたが、基本的には素直な生徒たちなので次年度も粘り強く声かけする。 ・整理整頓など、まずは学習環境の整備に取り組む。 ・総合探究の時間を含め、進路指導部と連携して進路に関して考える機会を作る。	A	・服装容疑について、不満や意見を持っている生徒と共に生徒全員で何故そうあるべきかを考えてみてほしい。見直しや改善策があるかもしれない。 ・キャリアパスポートの効果的な活用を期待している。 ・生活習慣や学習態度の指導が継続して行われている。
		家庭学習の定着を図り、学業と部活動の両立に努める。	A	B	A	A				
		「進路のしおり」やキャリアパスポート等の活用を通して自己理解を図り、文理選択を見据えた早期の進路決定を促す。	B	A	B	B				
2学年	(1) 基本的生活習慣の確立 (2) 進路の早期決定 (3) 自主学習習慣を確立	規範意識を高め、学習環境の整備を促し、勤怠・服装容儀指導を徹底する。	A	A	A	A	A	全ての項目でA評価を頂いた。昨年度は学業と部活動の両立の項目でB評価が生徒・保護者よりあった。そこを改善すべく3年生にアンケート「学業と部活動の両立で上手くいったこと」をとり、リアルな声を上半期間掲示した。その成果が結果として表れている。今後も生徒・保護者から信頼されるよう各部署と連携を密にとり、課題は改善に向けて、成果は継続できるよう取り組んでいく。	A	・部活動や校則について、生徒、保護者から様々な意見が寄せられているようなので、引き続き、改善並びに丁寧な指導が必要である。 ・学習と学校生活の両面から生徒の成長を支える取り組みがみられます。
		進路情報の定期的な提供を行い、面談等を通して生徒・保護者と共通理解を図り進路意識を高める。	A	A	A	A				
		学業と部活動の両立に努めさせ、家庭学習を励行し、自主学習習慣を確立する。	A	A	A	A				
3学年	(1) 主体的学習態度の確立 (2) 進路の決定 (3) 社会性の育成	基本的生活習慣を確立させ、好ましい学習環境作りに努める。	B	A	A	A	A	基本的生活習慣や学習態度に関しては、改善すべき点が依然として多く見られる。時間を守ることや、取り組むべきことに責任をもって向き合う姿勢については、継続して丁寧に指導していく必要がある。今年度は、自動車練習所への通所やアルバイト等を理由とした「虚偽の病欠」が増加しており、学校生活より私的な予定を優先する傾向が見られた。また、今年度途中より導入された「家族休暇」の取得のしやすさや、クラッシュによる病欠連絡の容易さが、結果として安易な欠席につながっていると考えられる。さらに、授業中のスマートフォン使用や私語が目立ち、授業そのものを大切にしている態度の未熟さも見られた。来年度は、これらの制度の趣旨や学校生活の基本ルールを改めて生徒へ正しく理解させ、出席・授業・生活態度のすべてにおいて責任をもって行動する力を育てていきたい。	A	・自律的能力(我慢、辛抱、忍耐力) ・大人から学ぶ機会を。 ・責任感。選挙権をもつこと社会にでてから自立するためにも、仕事や課題をやり遂げる力。 ・積極性。いつも何かをしてもらう人ではなく、してあげる人・助言を受け入れる能力も。 ・素晴らしい進路実績をだしているものの自己管理能力の評価が「B」となっているところが気になります。1、2年生の頃からのキャリア教育の充実を図る必要があるように思う。 ・生徒の主体性を育てる教育活動が行われていると思います。
		家庭学習、課外講座、模擬試験、資格・検定の取得を奨励し、個々の第一希望を踏まえ、適正に応じた進路指導を行う。	A	A	A	A				
		公共心の育成を図り、互いの人格を尊重し、より良い人間関係を築くことを目的としたHR経営を行う。	A	A	A	A				
学習 学校行事	観点別学習状況の評価の実施 授業改善 主体性の育成	評価規準の共通理解を図り、学びに活かす評価を実施する。	A	A	B	A	A	指導と評価の一体化の視点から、各教科の「観点別学習状況の評価」の基準や方法を共有し、指導改善に繋げていくような研究を推進する。	A	・特に、ICTの活用による授業改善については、効率化を図るためにも教員の協働体制がこれまで以上に重要になってくるように思う。 ・授業改善など学習の質向上への取り組みを評価します。
		ICT等を活用し、「わかる授業」の実践を推進する。	A	A	A	A				
		生徒の主体性を育成するため、各種学校行事を生徒とともに作り上げる。	A	A	A	A				
人権	人権意識の高揚 体罰・暴言等の根絶	研修や講演会等を通しての人権意識の高揚を図る。	A	A	A	A	A	望ましい指導の在り方等について継続的に研修を実施する。また、年度始めの職員会議や部活動生集会で「沖縄県高校部活生メッセージ2023～変えよう部活、変えよう未来～」を職員・生徒ともに確認する。	A	・部活動指導においては、一般的には、ハラスメントの指摘がなされています。引き続き、教員の人権意識の高揚に努めてもらいたい。 ・人権意識を大切にされた学校作りが行われていると思います。今後の継続に期待します。
		不適切な指導へ迅速な対応を行う。	A	A	A	A				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ①観点別学習状況の評価の改善と指導と評価の一体化
- ②学校からの積極的な情報発信
- ③主体的に取り組むキャリア教育の体制構築
- ④部活動や自主活動等も踏まえた家庭学習の質と量の調整

(読谷高校教職員)令和7年度学校評価アンケート集計結果

回答1「よくあてはまる」4点、回答2「ややあてはまる」3点、回答3「あまりあてはまらない」2点、回答4「まったくあてはまらない」1点
 評価 A(平均4.0～3.2)、B(平均3.1～2.4)、C(平均2.3～1.6)、D(平均1.5～1.0)、

通番	項目	評価	平均	回答数	割合			
					回答1	回答2	回答3	回答4
1	学校は、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	A	3.4	52	50.0%	44.2%	3.8%	1.9%
2	学年会や部会及び教科会は円滑かつ計画的におこなわれており、職員会議等は、情報交換と課題検討の場として機能している。	A	3.5	52	53.8%	44.2%	1.9%	0.0%
3	学校は地域に開かれており、保護者と協力的な関係で教育活動を行うことができている。	A	3.3	52	32.7%	63.5%	3.8%	0.0%
4	校務遂行上必要なデータは、ルールに則って適切に管理されており、効率化が図られている。	A	3.6	52	55.8%	44.2%	0.0%	0.0%
5	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	A	3.2	52	25.0%	67.3%	7.7%	0.0%
6	私たちは、生徒が気持ちよく学校生活を送れるよう、全職員共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、生徒の規範意識を高めている。	A	3.2	51	31.4%	58.8%	9.8%	0.0%
7	私たちは、講演会等を通して生徒の危機管理意識や交通安全への意識を高め、自らの身を守る力を育成している。	A	3.6	52	59.6%	40.4%	0.0%	0.0%
8	私たちは、生徒会行事等を通して生徒の自立的な自治能力を育成する活動の支援をしている。	A	3.5	52	51.9%	46.2%	1.9%	0.0%
9	私たちは、各学年での進路意識に応じた目標設定を行わせることにより、生徒の自学する力を育成している。	A	3.3	52	34.6%	55.8%	9.6%	0.0%
10	私たちは、実力テスト等の結果分析やClassi等を活用し、生徒の到達目標に応じた情報を提供している。	A	3.3	52	30.8%	65.4%	3.8%	0.0%
11	私たちは、HR担任と連携し進路講演会等での学習を通して、生徒の自分の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	A	3.4	52	44.2%	48.1%	7.7%	0.0%
12	学校図書館は、読書・学習活動等によく利用できる体制が整っている。	A	3.7	52	67.3%	32.7%	0.0%	0.0%
13	視聴覚機材は適切に整備され、利用しやすい環境が整えられている。	A	3.7	52	73.1%	23.1%	3.8%	0.0%
14	校内ネットワークやICT機器は適切に管理・運用され、職員の校務が円滑に行われるよう整えられている。	A	3.7	52	71.2%	26.9%	1.9%	0.0%
15	ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	A	3.8	52	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
16	私たちは、生徒の学習環境の整備・充実を図り、校内の緑化及び美化を推進している。	A	3.5	52	57.7%	36.5%	5.8%	0.0%
17	私たちは、生徒の健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	A	3.6	52	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
18	私たちは、個に応じた健康相談活動の充実と支援体制の確立に努め、多様な生徒への対応と学習支援の充実に務めている。	A	3.7	52	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
19	私たちは、凡事徹底(規則正しい生活、身なり、マナー)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	A	3.2	17	29.4%	58.8%	11.8%	0.0%
20	私たちは、生徒が学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	A	3.2	17	35.3%	52.9%	11.8%	0.0%
21	私たちは、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、生徒の主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	B	3.1	17	17.6%	70.6%	11.8%	0.0%

22	2 学 年 の み	私たちは、凡事徹底(あいさつ、整理整頓、身なり)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	A	3.2	14	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%
23		私たちは、進路指導部と連携して、生徒の主体的な進路選択する力を育成している。	A	3.4	14	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%
24		私たちは、生徒が学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	A	3.2	14	35.7%	50.0%	14.3%	0.0%
25	3 学 年 の み	私たちは、凡事徹底を実践し、生徒の自己管理能力を育成している。	B	3.1	15	26.7%	53.3%	20.0%	0.0%
26		私たちは、進路指導部と連携して生徒の主体的な進路選択する力を育成している。	A	3.4	15	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
27		私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の健全な社会性を育成している。	A	3.5	15	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%
28	学 習	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について生徒に説明している。	A	3.5	51	56.9%	39.2%	3.9%	0.0%
29		私たちは、ICTを活用するなどして授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	A	3.7	52	65.4%	34.6%	0.0%	0.0%
30		私たちは、生徒の主体性の育成を目指し、生徒と一緒に学校行事を作り上げている。	A	3.5	52	59.6%	34.6%	5.8%	0.0%
31	人 権	私たちは、生徒に対する人権意識の高揚を図るため、適宜職員研修を行っている。	A	3.5	52	55.8%	42.3%	1.9%	0.0%
32		私たちは、職員や部活動指導者による生徒への体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応	A	3.7	52	67.3%	30.8%	1.9%	0.0%

(読谷高校生徒)令和7年度学校評価アンケート集計結果

回答1「よくあてはまる」4点、回答2「ややあてはまる」3点、回答3「あまりあてはまらない」2点、回答4「まったくあてはまらない」1点
 評価 A(平均4.0～3.2)、B(平均3.1～2.4)、C(平均2.3～1.6)、D(平均1.5～1.0)、

通番	項目	評価	平均	回答数	割合			
					回答1	回答2	回答3	回答4
1	教務 本校は、学習をする上で十分に授業時数が確保されている。	A	3.6	565	70.1%	25.3%	3.5%	1.1%
2		A	3.4	565	52.4%	37.5%	7.8%	2.3%
3	生徒指導 学校は、私たちが気持ちよく学校生活を送れるよう、共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、私たちの規範意識を高めている。	A	3.4	564	51.2%	39.5%	7.6%	1.6%
4		A	3.6	565	68.1%	28.8%	2.7%	0.4%
5		A	3.6	565	61.4%	33.8%	4.2%	0.5%
6	進路 学校は、各学年での進路意識に応じた目標設定を行わせることにより、私たちの自学する力を育成している。	A	3.5	563	56.0%	39.3%	3.9%	0.9%
7		A	3.5	564	56.6%	36.2%	6.4%	0.9%
8		A	3.5	565	56.8%	37.9%	4.8%	0.5%
9	図書情報 学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	A	3.6	564	61.3%	34.0%	3.5%	1.1%
10		A	3.5	564	55.9%	37.8%	5.3%	1.1%
11		A	3.5	563	55.4%	39.1%	4.3%	1.2%
12	環境保健 学校は、私たちの学習環境の整備・充実を図り、校内の緑化及び美化を推進している。	A	3.5	562	57.5%	37.4%	4.1%	1.1%
13		A	3.6	565	65.7%	31.3%	2.1%	0.9%
14		A	3.5	563	59.7%	34.6%	4.8%	0.9%
15_1	1学年のみ 学校は、凡事徹底(規則正しい生活、身なり、マナー)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	A	3.5	207	56.5%	37.7%	4.3%	1.4%
16_1		B	3.1	207	42.5%	37.7%	11.6%	8.2%
17_1		A	3.4	207	51.7%	42.0%	5.3%	1.0%

15_2	2 学 年 の み	学校は、凡事徹底(あいさつ、整理整頓、身なり)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	A	3.6	154	61.7%	34.4%	3.9%	0.0%
16_2		学校は、進路指導部と連携して、私たちの主体的な進路選択する力を育成している。	A	3.6	155	61.3%	35.5%	2.6%	0.6%
17_2		学校は、私たちが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	A	3.4	155	50.3%	38.1%	10.3%	1.3%
15_3	3 学 年 の み	学校は、凡事徹底を実践し、私たちの自己管理能力を育成している。	A	3.5	202	55.0%	39.6%	4.0%	1.5%
16_3		学校は、進路指導部と連携して私たちの主体的な進路選択する力を育成している。	A	3.6	202	61.9%	33.7%	3.5%	1.0%
17_3		学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの健全な社会性を育成している。	A	3.6	202	61.9%	36.1%	1.5%	0.5%
18	学 習	各教科の先生は、年間指導計画や成績評価の方法について私たちに説明している。	A	3.6	562	64.1%	31.0%	4.1%	0.9%
19		先生たちは、ICTを活用するなどして授業内容をわかりやすく工夫し、私たちの学習に関する質問や相談に丁寧に応えてい	A	3.5	562	58.9%	36.7%	3.7%	0.7%
20		先生たちは、生徒の主体性の育成を目指し、私たちと一緒に学校行事を作り上げている。	A	3.6	563	61.6%	35.3%	2.7%	0.4%
21	人 権	学校は、私たちの人権を守るため、丁寧に対応している。	A	3.6	562	63.2%	33.5%	2.5%	0.9%
22		学校は、職員や部活動指導者による生徒への体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応を行っている。	A	3.6	564	62.1%	33.3%	3.2%	1.4%

(読谷高校保護者)令和7年度学校評価アンケート集計結果

回答1「よくあてはまる」4点、回答2「ややあてはまる」3点、回答3「あまりあてはまらない」2点、回答4「まったくあてはまらない」1点
 評価 A(平均4.0～3.2)、B(平均3.1～2.4)、C(平均2.3～1.6)、D(平均1.5～1.0)、

通番	項目	評価	平均	回答数	割合				
					回答1	回答2	回答3	回答4	
1	教務	本校は、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	A	3.6	163	59.5%	36.8%	3.1%	0.6%
2		学校は地域に開かれており、保護者と協力的な関係で教育活動を行うことができている。	A	3.3	164	35.4%	56.1%	6.7%	1.8%
3		本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒たちの興味関心、進路に応じて編成されている。	A	3.2	165	33.3%	58.2%	7.9%	0.6%
4	生徒指導	学校は、子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるよう、共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、私たちの規範意識を高めている。	A	3.3	165	45.5%	45.5%	6.7%	2.4%
5		学校は、講演会等を通して子どもたちの危機管理意識や交通安全への意識を高め、自らの身を守る力を育成している。	A	3.4	165	44.8%	49.7%	4.2%	1.2%
6		学校は、生徒会行事等を通して子どもたちの自立する力を育成する活動の支援をしてくれている。	A	3.4	164	43.9%	51.8%	4.3%	0.0%
7	進路	学校は、各学年での進路意識に応じた目標設定を行わせることにより、子どもの自学する力を育成している。	A	3.2	165	35.8%	52.7%	9.7%	1.8%
8		学校は、実力テスト等の結果分析やClassi等を活用し、子どもの到達目標に応じた情報を提供している。	A	3.2	164	37.8%	48.2%	11.6%	2.4%
9		学校は、進路講演会等での学習を通して、子ども自身の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	A	3.2	165	35.8%	49.1%	14.5%	0.6%
10	図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	A	3.2	163	29.4%	57.1%	12.9%	0.6%
11		学校の視聴覚機材は適切に整備され、授業で利用しやすい環境が整えられている。	A	3.2	162	27.2%	61.7%	11.1%	0.0%
12		ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	A	3.3	165	43.6%	43.0%	11.5%	1.8%
13	環境保健	学校は、子どもたちの学習環境の整備・充実を図り、校内の緑化及び美化を推進している。	A	3.3	165	41.8%	51.5%	6.1%	0.6%
14		学校は、子どもたちの健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	A	3.3	165	37.6%	55.8%	5.5%	1.2%
15		学校は、個に応じた健康相談活動の充実と支援体制の確立に努め、多様な生徒への対応と学習支援にきめ細かく対応している。	B	3.1	164	29.3%	56.1%	9.8%	4.9%
16	1学年のみ	学校は、凡事徹底(規則正しい生活、身なり、マナー)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	A	3.2	94	37.2%	52.1%	6.4%	4.3%
17		学校は、子どもが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	A	3.2	89	32.6%	52.8%	13.5%	1.1%
18		学校は、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、子どもの主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	B	3.1	87	29.9%	52.9%	14.9%	2.3%

19	2 学年 のみ	学校は、凡事徹底(あいさつ、整理整頓、身なり)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	A	3.3	61	32.8%	62.3%	4.9%	0.0%
20		学校は、進路指導部と連携して、子どもの主体的な進路選択する力を育成している。	A	3.2	60	31.7%	56.7%	10.0%	1.7%
21		学校は、子どもが学業と部活動の両立ができるよう、家庭学習の量と部活動時間のバランスを考慮している。	A	3.2	58	31.0%	56.9%	12.1%	0.0%
22	3 学年 のみ	学校は、凡事徹底を実践し、子どもの自己管理能力を育成している。	A	3.4	68	47.1%	45.6%	7.4%	0.0%
23		学校は、進路指導部と連携して子どもの主体的な進路選択する力を育成している。	A	3.4	68	47.1%	45.6%	7.4%	0.0%
24		学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの健全な社会性を育成している。	A	3.5	68	48.5%	48.5%	2.9%	0.0%
25	学習	各教科の先生は、年間指導計画や成績評価の方法について子どもに説明している。	B	3.1	161	29.8%	54.7%	13.0%	2.5%
26		先生たちは、ICTを活用するなどして授業内容をわかりやすく工夫し、子どもの学習に関する質問や相談に丁寧に応えてい	A	3.2	161	31.7%	56.5%	11.2%	0.6%
27		先生たちは、子どもの主体性の育成を目指し、子どもたちと一緒に学校行事を作り上げている。	A	3.4	164	48.8%	43.9%	6.1%	1.2%
28	人権	学校は、子どもたちの人権を尊重し、適切に対応している。	A	3.3	163	41.7%	52.8%	3.7%	1.8%
29		学校は、職員や部活動指導者による子どもへの体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把	A	3.3	161	41.6%	48.4%	7.5%	2.5%